



「寄り添うチカラ」で人々の感動と笑顔を生み出す

2027年3月期 第1四半期決算説明

2026年 8月12日（水）
株式会社アイティフォー
〔証券コード：4743〕
<https://www.itfor.co.jp>



業績

- 第1四半期として、前期比9.2%の増収、28.5%の営業増益
- 概ね計画通りの進捗につき、業績予想は据え置き
- 次期成長戦略に向けた人材投資に伴う営業利益率低下は、当期に底打ち

受注

- 主力のフィナンシャルシステム事業が牽引し、受注高は前期比10%増加
- 受注残は前期比7.7%増加し、過去最高額を計上

資本配分

- WAmazing株式会社に出資し、持分法適用会社化
2026年11月の免税制度変更（リファンド方式）に対応したソリューションの先行投資取組中
- 株式会社GIGABANKに出資
外国人プラットフォームの構築に向けたCVC投資案件
- 年間80円の配当予想は据え置き

AGENDA

-
- 01 **FY2026 第1四半期業績**
 - 02 FY2026 業績予想
 - 03 FY2026 事業戦略の進捗
 - 04 株主還元
 - 05 会社概要



FY2026 第1四半期業績（PL概況）



第1四半期として、増収・増益を達成。業績予想は据置き

- 2桁増の受注により、高水準の受注残を確保

単位：百万円 ()内：マイナス	FY2025 4-6月 実績	FY2026 4-6月			FY2026 予想比較 (2026年5月14日発表)			
		実績	前期比	前期差	上期		通期	
					業績予想	進捗率	業績予想	進捗率
売上高	4,235	4,624	9.2%	388	10,800	42.8%	28,000	16.5%
営業利益	431	555	28.5%	123	1,400	39.6%	4,800	11.6%
経常利益	492	509	3.5%	17	1,450	35.1%	4,900	10.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	354	357	0.8%	2	1,000	35.7%	3,400	10.5%
受注高	4,427	4,871	10.0%	444	-	-	29,500	16.5%
受注残高	16,487	17,759	7.7%	1,272	-	-	19,812	89.6%

FY2026 第1四半期業績（PL概況）



単位：百万円 ()内：マイナス	FY2025 4-6月	FY2026 4-6月		
	実績	実績	前期比	前期差
売上高	4,235	4,624	9.2%	388
売上総利益	1,506	1,794	19.1%	288
販管費	1,074	1,239	15.4%	(*1) 165
営業利益	431	555	28.5%	123
営業外収益	65	62	(4.6%)	(2)
営業外費用	4	107	2,124%	(*2) 102
経常利益	492	509	3.5%	17
親会社株主に帰属する 当期純利益	354	357	0.8%	2

■ ポイント

- (*1) 販管費 165百万円増加
(うち、人件費 83百万円増加)
- (*2) 営業外費用 102百万円増加
(うち、持分法投資損失 97百万円増加)

指標	FY2025 4-6月	FY2026 4-6月	前期差
売上総利益率	35.6%	38.8%	+3.2pt
販管費率	25.4%	26.8%	(*3) +1.4pt
営業利益率	10.2%	12.0%	(*4) +1.8pt

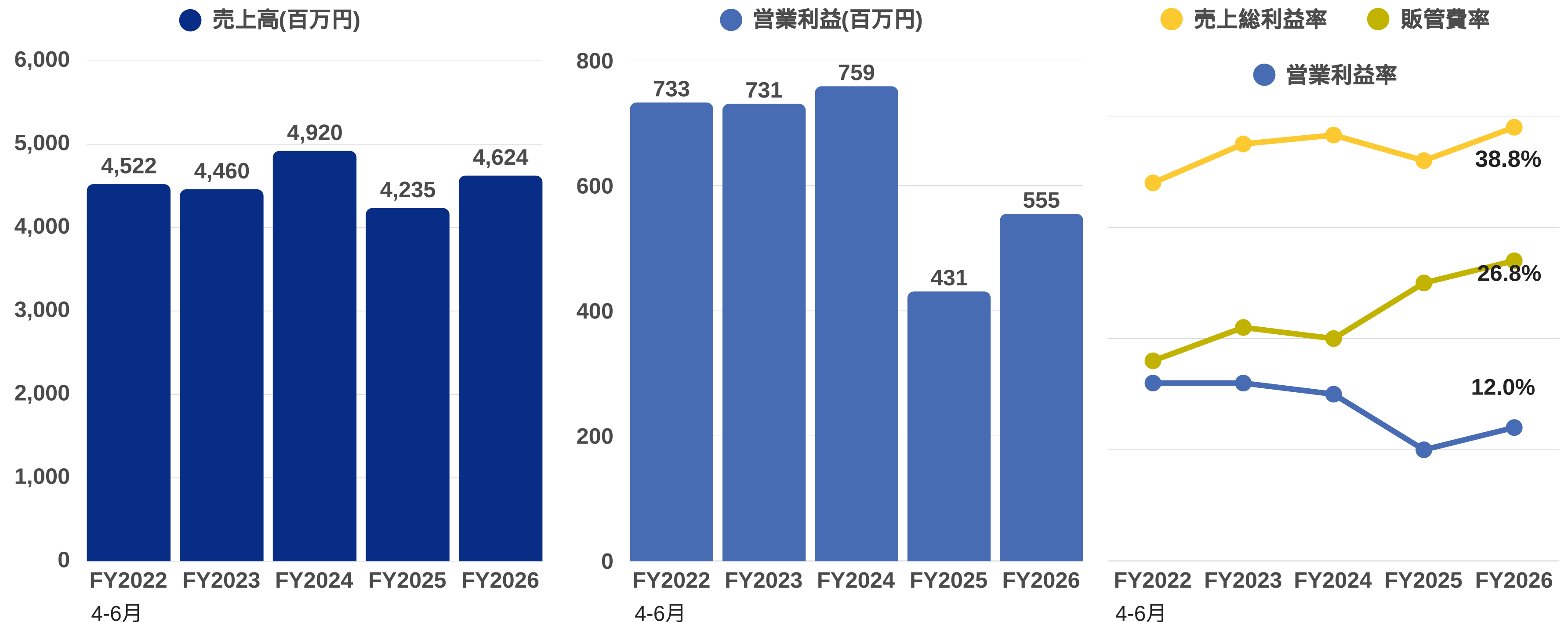
(*3) 人財投資による人件費増に伴い、販管費率上昇

(*4) 販管費率の上昇を上回る、売上総利益率上昇により、営業利益率は+1.8pt上昇

FY2026 第1四半期業績（過年度推移）



前期の落ち込みから反転し、売上高・営業利益ともに前年同期を上回る底堅いトレンド



FY2026 第1四半期業績（事業別売上概況）



単位：百万円 ()内：マイナス	FY2025 4-6月	FY2026 4-6月		事業内容、トピック
		実績	前期差	
フィナンシャルシステム	747	576	(171)	ニッチトップソリューションである、金融機関向け債権管理システム等のソリューションを提供 主力事業としてグループ売上構成比23.5%を占める
公共システム	144	63	(81)	地方自治体の滞納管理システム・学務支援システム等のソリューションを提供 地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化が法制化されたことに伴い潜在需要旺盛
流通ECシステム	95	204	108	小売業の販売管理・顧客管理などの基幹システム、ECサイト構築等のソリューションを提供
CTIシステム	281	96	(184)	金融機関をはじめとする幅広い業界に向けたコンタクトセンター関連ソリューション等を提供
通信システム	212	179	(32)	クラウド基盤、携帯ネットワーク構築、社会インフラ更新、ネットワークセキュリティシステム等を提供
決済システム	107	107	(0)	自社調達、自社開発のマルチ決済端末「iRITSpay決済ターミナル」を中心とした決済プラットフォーム等を提供
その他	363	938	575	事業未区分に該当する既存事業の増収、および「ソフトウェア開発」を主力事業とするアイセル社を 前期第4四半期に連結子会社化したことに伴い大幅増収
システム開発・販売合計	1,952	2,167	214	ー
BPO	971	1,063	91	自治体の税金・保険料催告業務等の実業務請負サービスを提供
保守・利用料	1,311	1,393	82	上記「システム開発・販売」各事業における案件の保守等を提供
リカーリング合計	2,282	2,456	174	ー

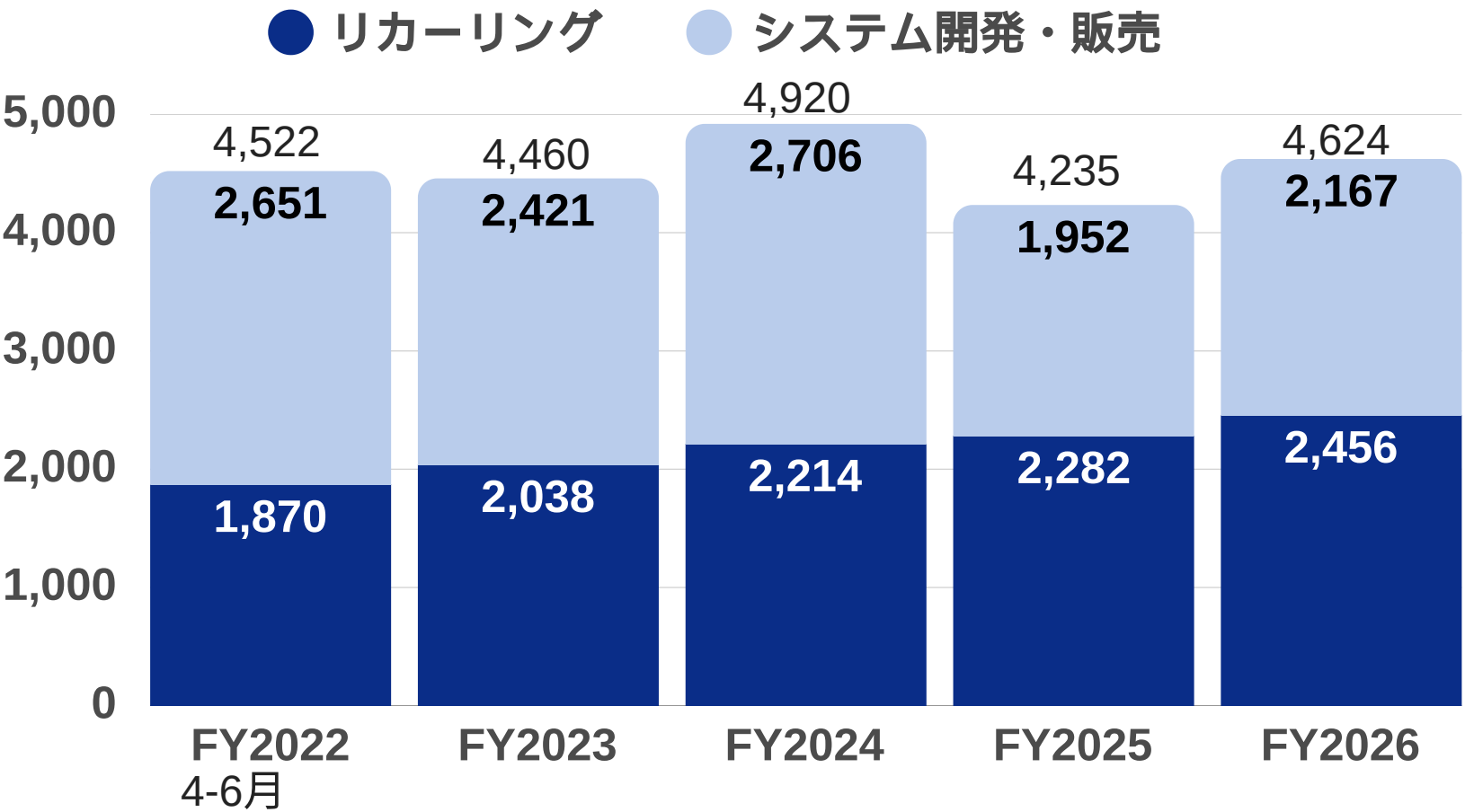
FY2026 第1四半期業績（セグメント概況）



売上高・セグメント利益は、第1四半期として、ほぼ計画通りの進捗

売上高（4-6月）

単位：百万円

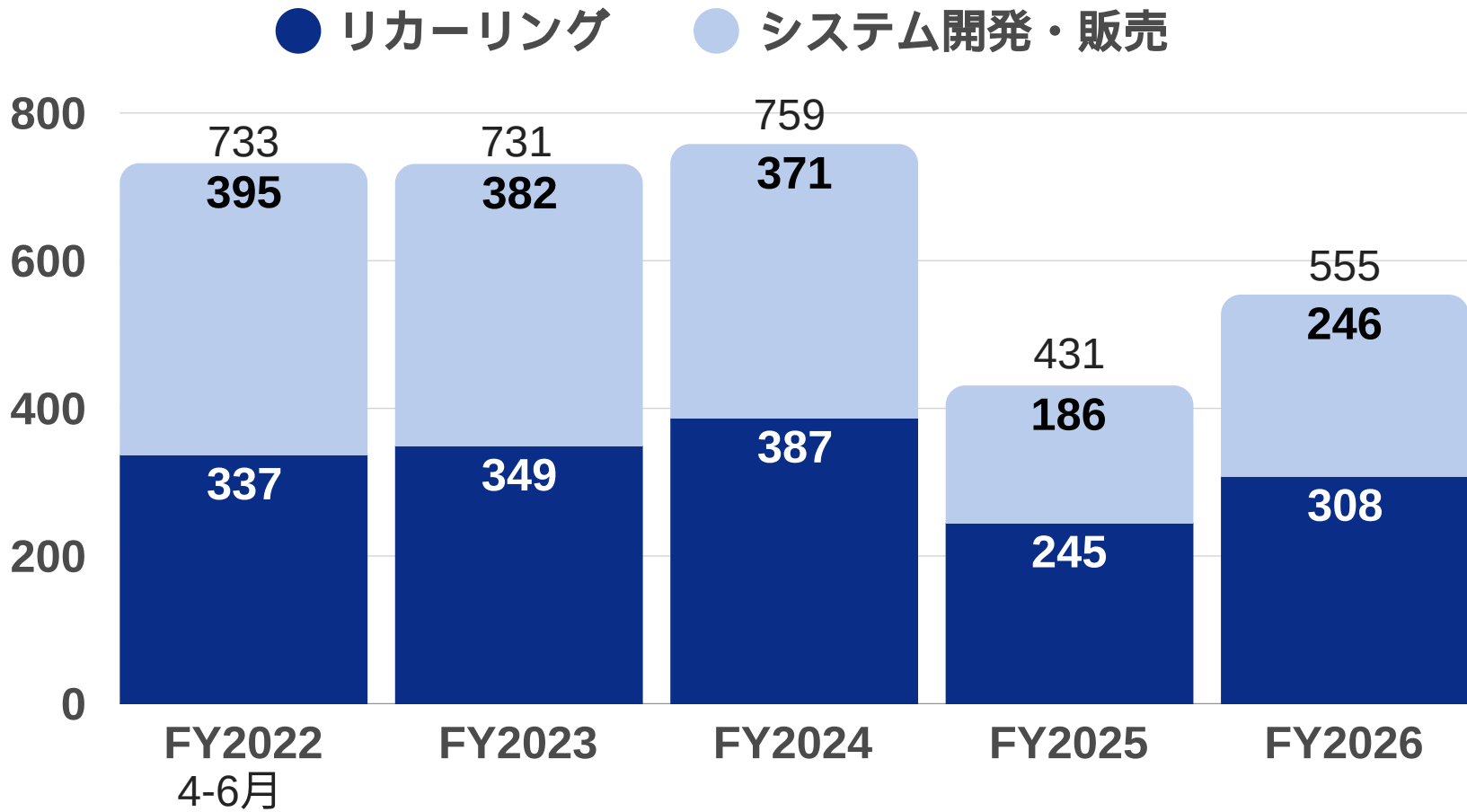


リカーリング構成比

41.4%	45.7%	45.0%	53.9%	53.1%
-------	-------	-------	-------	-------

セグメント利益（4-6月）

単位：百万円



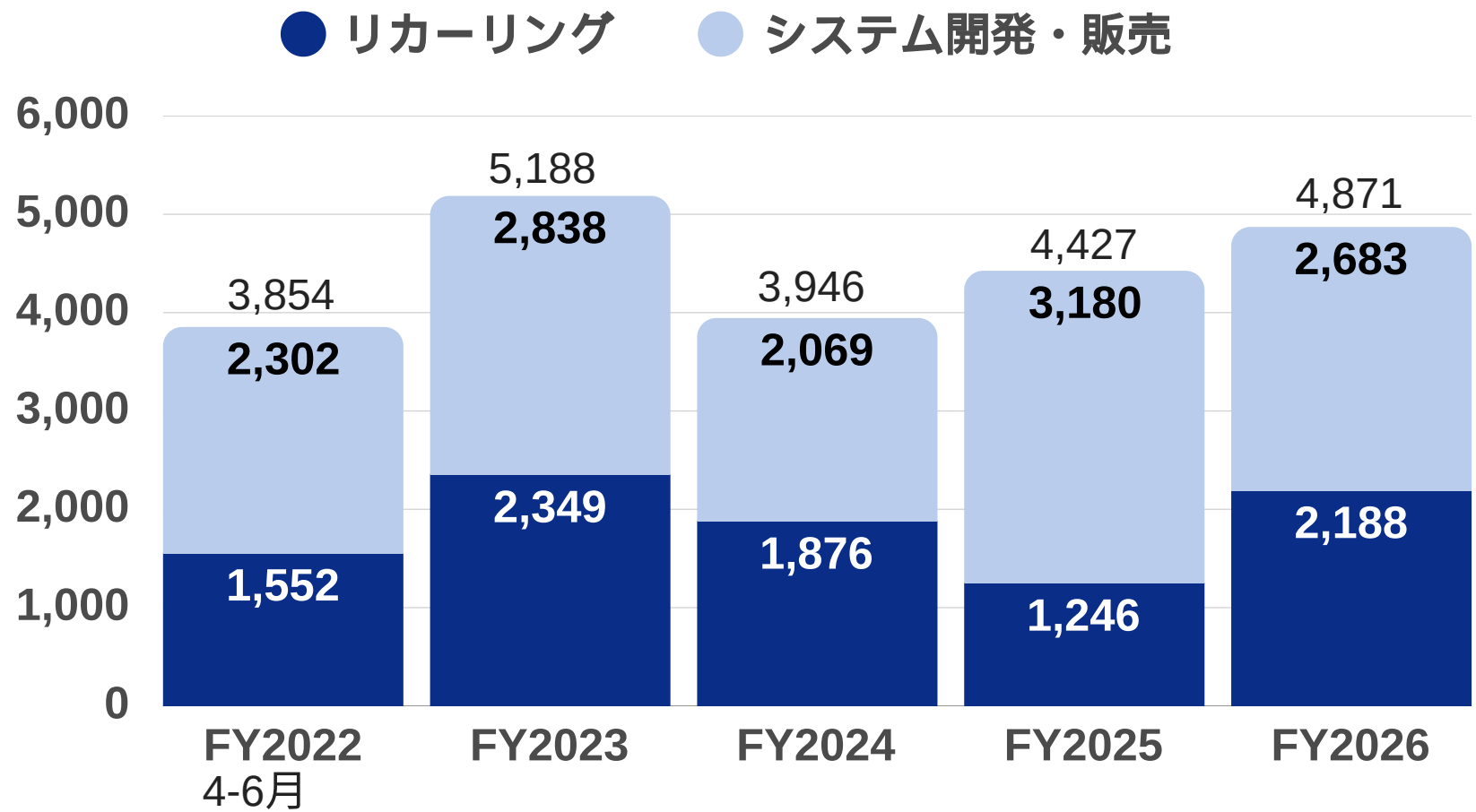
リカーリング構成比

46.1%	47.7%	51.1%	56.9%	55.6%
-------	-------	-------	-------	-------

主力のフィナンシャルシステムの受注が牽引し、過去最高額の受注残を計上

受注高(4-6月)

単位：百万円

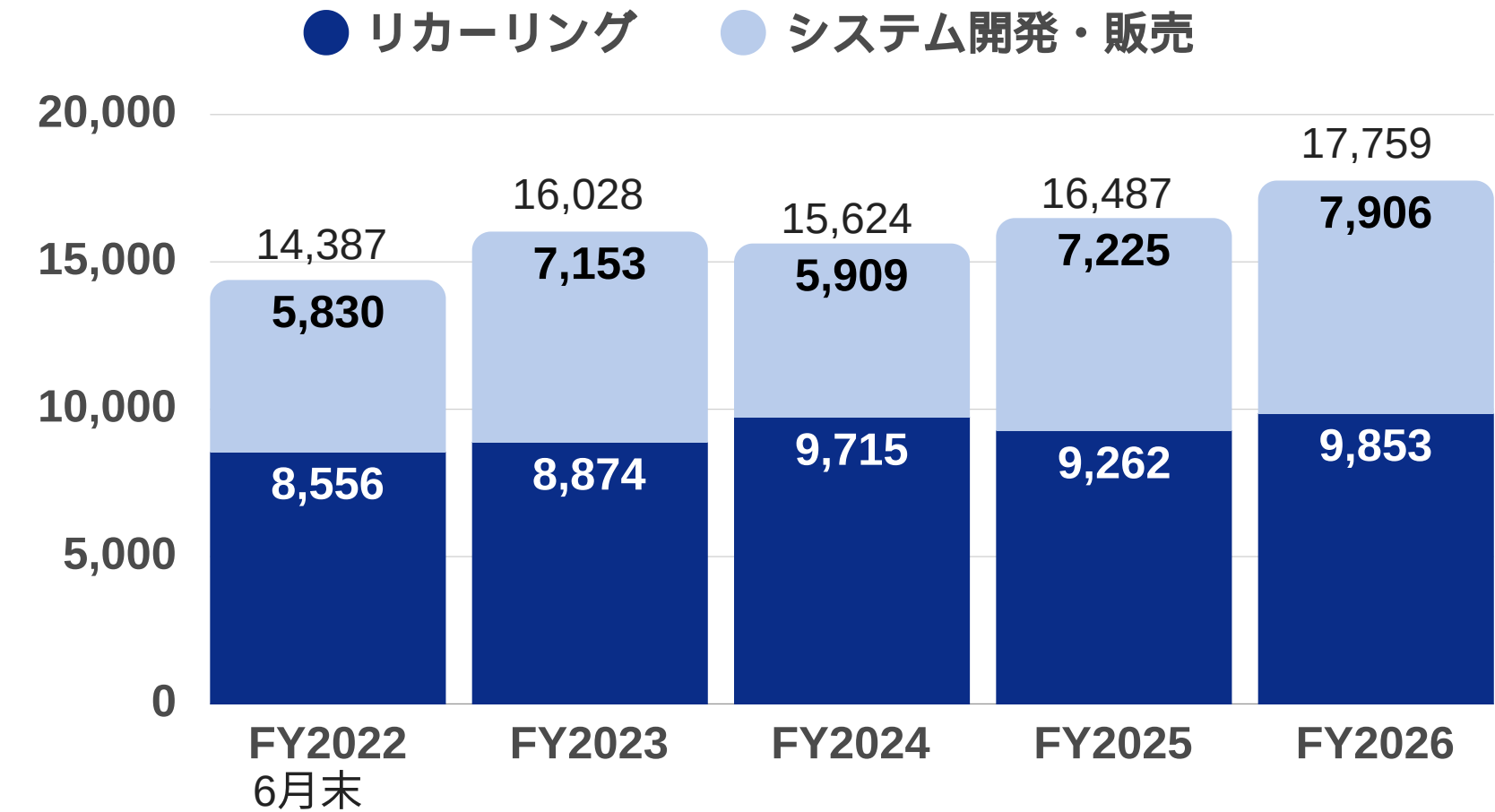


リカーリング構成比

40.3%	45.3%	47.6%	28.2%	44.9%
-------	-------	-------	-------	-------

6月末受注残高

単位：百万円



リカーリング構成比

59.5%	55.4%	62.2%	56.2%	55.5%
-------	-------	-------	-------	-------

FY2026 第1四半期業績 (BS①)



単位：百万円 ()内：マイナス	2025年 6月末	2026年 3月末	2026年6月末		
	実績	実績	実績	前年同期差	前期末差
現預金	6,319	7,808	6,266	(52)	(1,542)
売掛金等	2,685	6,410	2,996	311	(3,414)
有価証券 ※1	7,392	5,094	6,188	(1,204)	1,094
棚卸資産 ※2	802	397	841	39	444
その他	362	371	407	44	36
流動資産合計	17,561	20,081	16,700	(861)	(3,381)
有形固定資産 ※3	889	1,065	1,047	158	(18)
無形固定資産 ※4	535	907	1,178	642	271
投資その他資産 ※5	4,078	6,012	6,768	2,709	755
固定資産合計	5,502	7,985	8,994	3,492	1,008
資産合計	23,064	28,066	25,695	2,630	(2,371)

■ ポイント

※1：有価証券

コマーシャル・ペーパーなど、満期が1年以内に到来する有価証券

※2：棚卸資産

主に決済システム事業の端末在庫、および各種システム開発の仕掛費

※3：有形固定資産

主にオフィス内装資産、所沢自社ビル

※4：無形固定資産

主にソフトウェア、のれん等

※5：投資その他資産

投資有価証券（2026年6月末：5,503百万円）および敷金、繰延税金資産等

FY2026 第1四半期業績 (BS②)



単位：百万円 ()内：マイナス	2025年 6月末	2026年 3月末	2026年6月末		
	実績	実績	実績	前年同期差	前期末差
買掛金	970	1,747	742	(227)	(1,005)
契約負債	1,129	902	1,282	152	380
その他 ※1	1,874	3,429	2,235	361	(1,194)
流動負債合計	3,969	6,078	4,270	300	(1,808)
固定負債合計 ※2、3	425	842	901	476	59
負債合計	4,394	6,920	5,171	777	(1,748)
資本金	1,124	1,124	1,124	0	0
資本剰余金	1,221	1,221	1,219	(1)	(1)
利益剰余金	17,067	18,669	17,730	662	(939)
自己株式	(1,613)	(1,566)	(1,566)	46	(1)
その他 ※4	870	1,697	2,015	1,145	318
純資産合計	18,670	21,146	20,523	1,853	(622)

■ ポイント

- ※1：その他（流動負債）
主に未払法人税、賞与引当金、未払金など
- ※2：有利子負債
短期借入金： 77百万円
長期借入金：130百万円
FY2025 Q4より発生
- ※3：固定負債
主に退職給付に係る負債、株式給付引当金等
- ※4：その他（純資産）
主にその他有価証券評価差額金、
および被支配株主持分

AGENDA

-
- 01 FY2025 第1四半期業績
 - 02 **FY2026 業績予想**
 - 03 FY2026 事業戦略の進捗
 - 04 株主還元
 - 05 会社概要



FY2026 業績予想（連結合計）



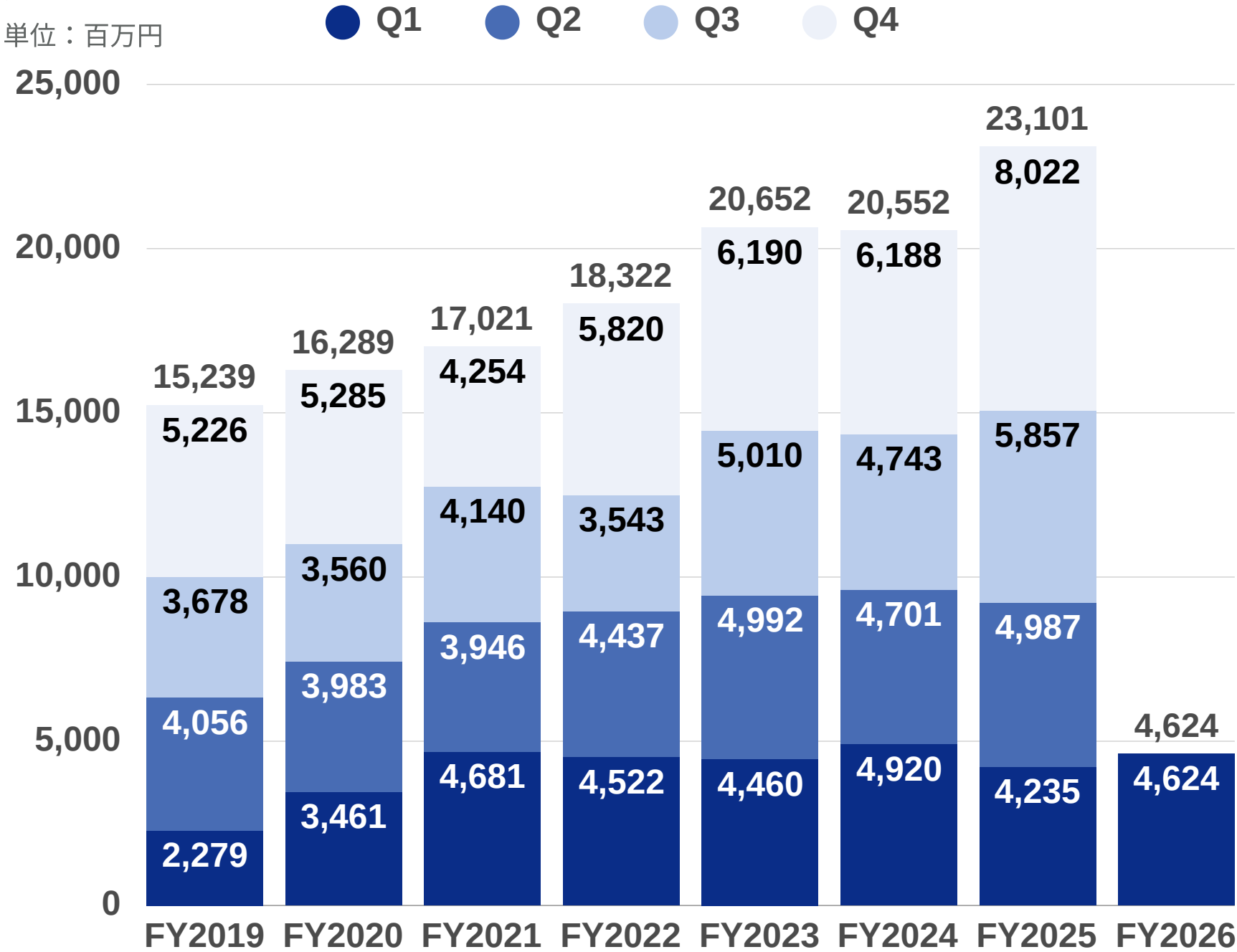
業績予想は据え置き

- 高水準の受注残を背景に、第4四半期にかけて売上加速する見通し

(単位：百万円)	中間期 4-9月		通期 4-3月	
	FY2025	FY2026	FY2025	FY2026
	実績	予想	実績	予想
売上高	9,222	10,800	23,101	28,000
営業利益	1,156	1,400	3,858	4,800
経常利益	1,254	1,450	4,054	4,900
親会社株主に帰属する 当期純利益	988	1,000	2,757	3,400
受注高	9,963	-	24,317	29,500
期末受注残	17,036	-	17,512	19,812

売上高

単位：百万円



※計画値非開示

FY2026 業績予想（セグメント）



(単位：百万円)		FY2025	FY2026	
		実績	予想	前期比
システム開発・販売				
	売上高	13,671	17,245	26.1%
	セグメント利益	1,954	2,437	24.7%
	受注高	15,065	15,990	6.1%
リカーリング				
	売上高	9,429	10,755	14.0%
	セグメント利益	1,903	2,363	24.1%
	受注高	9,252	13,510	46.0%
連結合計				
	売上高	23,101	28,000	21.2%
	セグメント利益	3,858	4,800	24.4%
	受注高	24,317	29,500	21.3%

■ ポイント

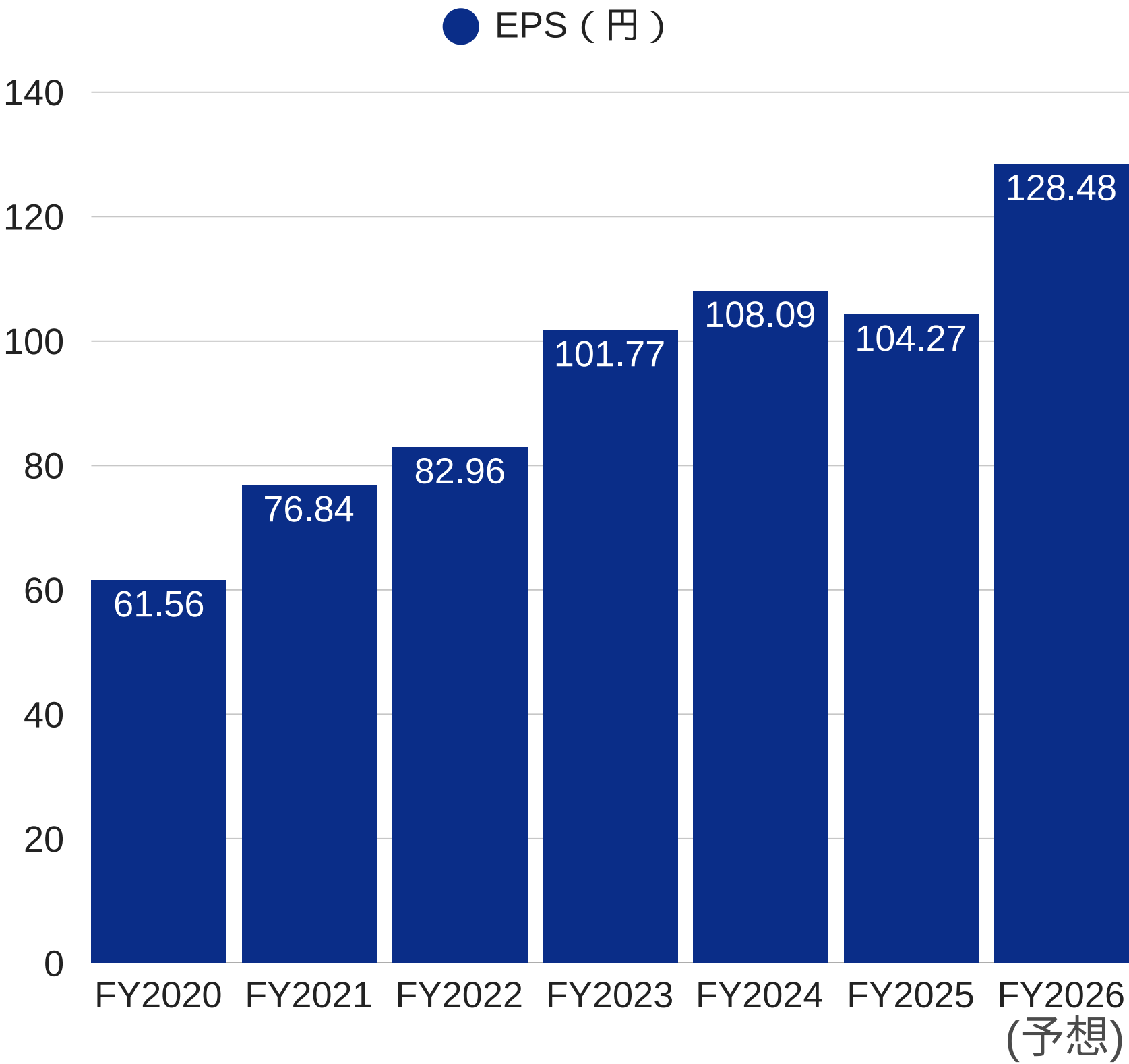
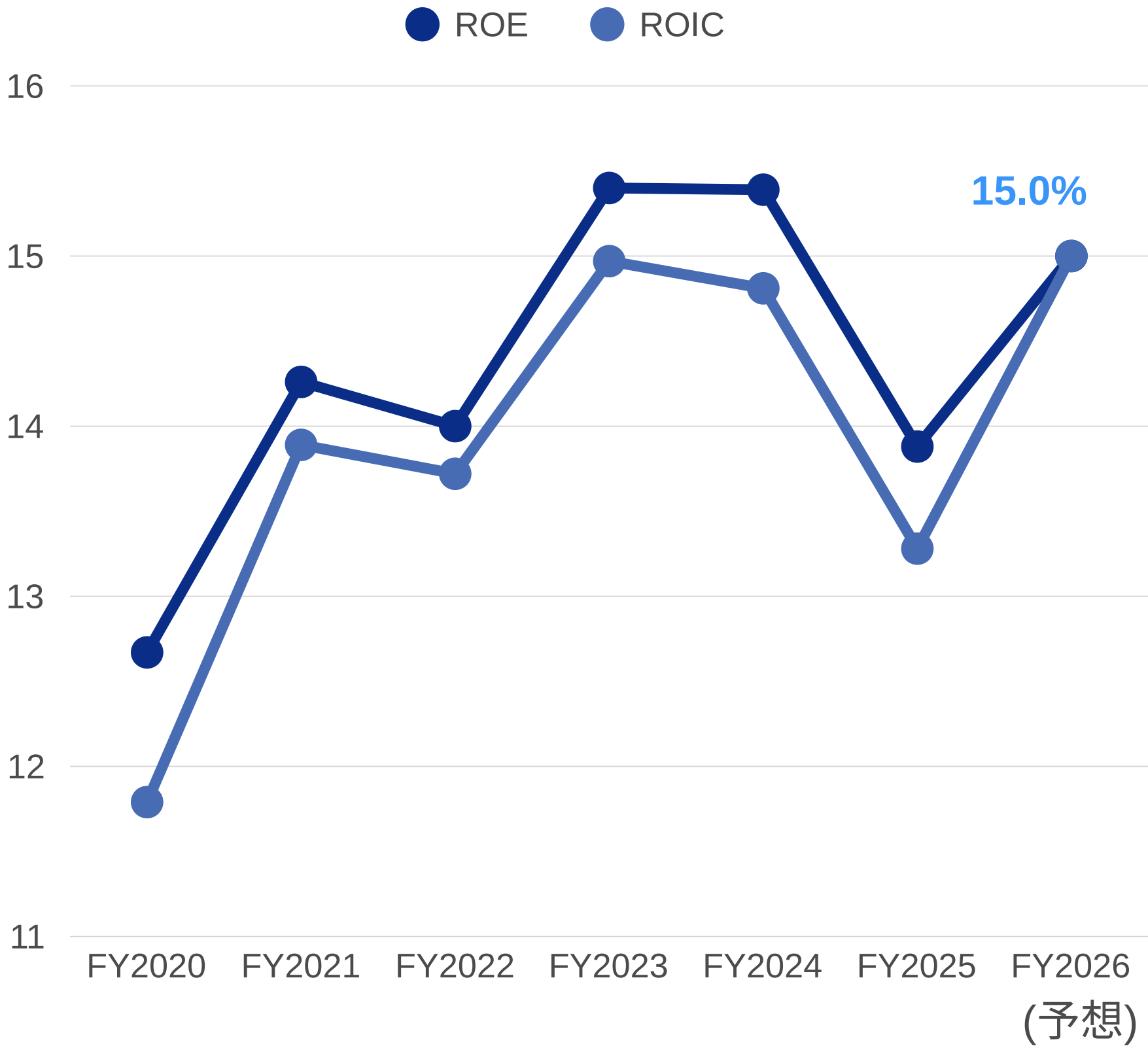
システム開発・販売

- 金融分野において、パッケージの更改案件の需要が継続する見込み
- 公共分野において、自治体システムの標準化移行に伴う、旺盛なシステム刷新需要が継続する見込み

リカーリング

- 一過性の落込みの反動により、受注高は大幅に増加する見込み
- BPO業務の幅（納税・国保・出資先との連携）を広げ、受注・売上ともに拡大する見込み

FY2026 業績予想（各種経営指標）

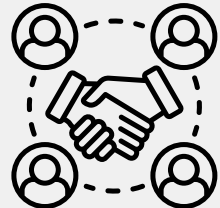
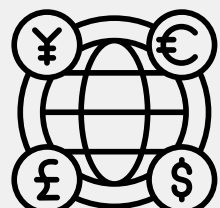


AGENDA

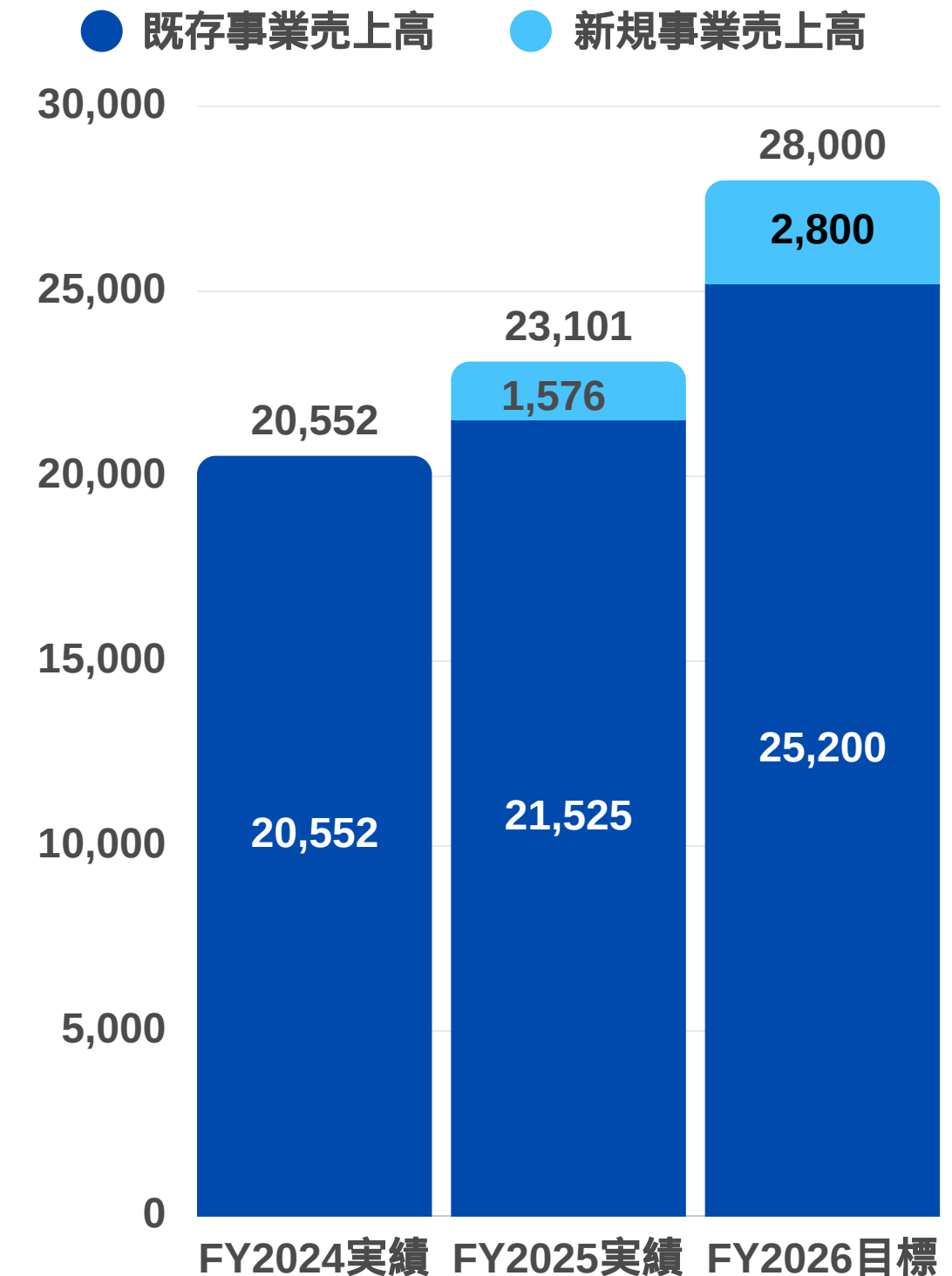
-
- 01 FY2025 第1四半期業績
 - 02 FY2026 業績予想
 - 03 FY2026 事業戦略の進捗**
 - 04 株主還元
 - 05 会社概要



- FY2024– 成長に向けた基盤の整備
ココボイスやAgent Hub等の開発実施など新規事業の芽出し
- FY2025 – 成長加速に向けた助走段階
既存事業のオーガニックな成長に加え、M&Aにより事業規模が拡大
- FY2026– 非連続成長への転換点
第4次中期経営計画最終年度として
複数の成長エンジンによる、収益規模の非連続的拡大を実現

1	既存事業の深耕と拡大 導入プロダクト増加と近接市場への拡大	
2	外国人プラットフォームの構築 外国人（旅行者、就労者）に対するプラットフォームを構築	
3	Growth Capital構想 対象マーケットを拡大すべく、攻めるM&Aを実現できる体制を構築	

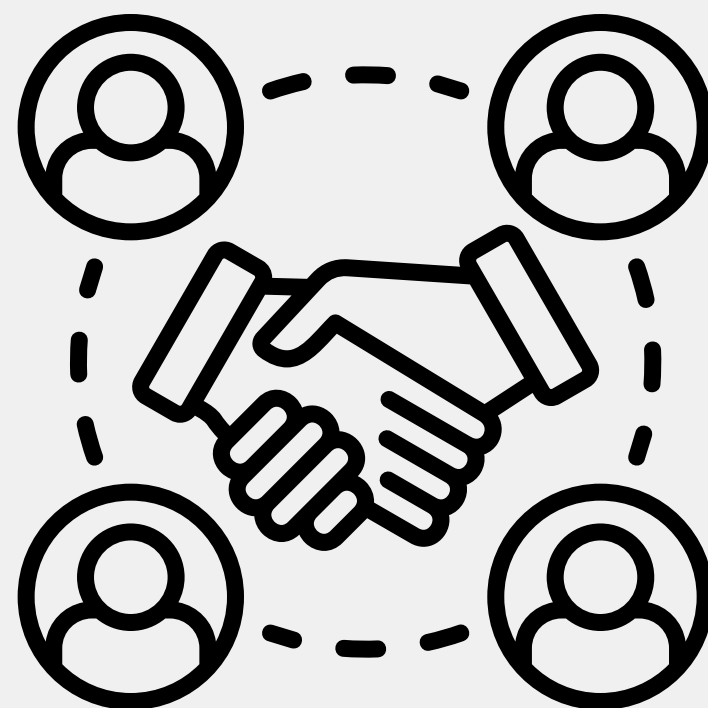
連結売上高（百万円）



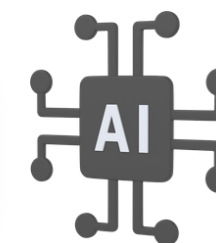
1

既存事業の深耕と拡大

導入プロダクト増加と
近接市場への拡大



AI活用



「AIスコアリングモデル」の実務適用開始（2026/4/1）

株式会社三菱総合研究所が提供する「審査AIサービス」を組み合わせで実現した機能。「審査AIサービス」に搭載するAIモデルは、人間（審査官）が従来行っていた融資審査の諾否判定を学習。

当社の個人ローン業務支援システム「SCOPE」を利用した住宅ローン審査において、信用リスク計量結果をSCOPEにAPI連携。これにより、審査結果のスピード向上や審査判断にかかる工数削減、審査の高度化を実現

【期待される効果】

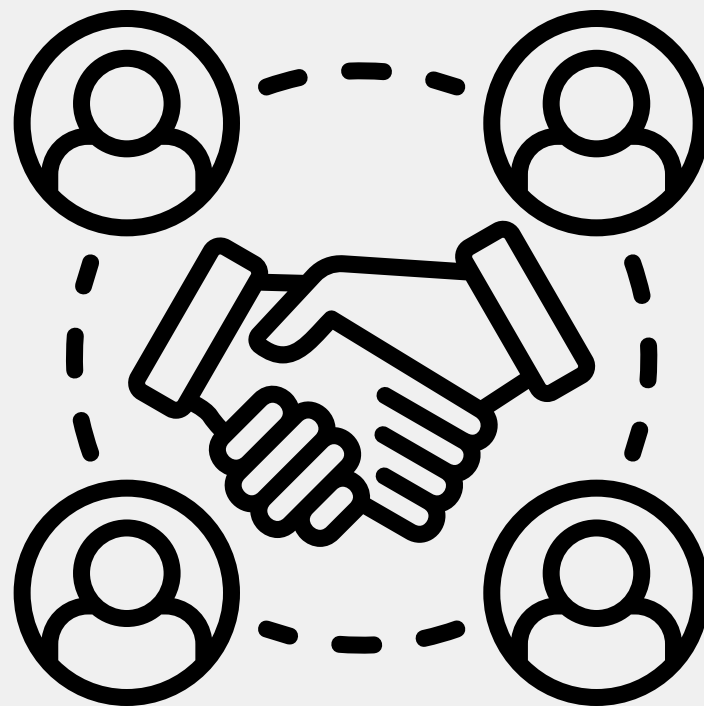
申し込みを受け付けた各審査案件に対して、AIモデルによって承認確率を算出し、この値に応じて「SCOPE」側で業務フローを制御。

これにより、全体の50%～80%程度の案件について人間の審査を介さずに自動かつリアルタイムでの審査回答が可能となる見通し。

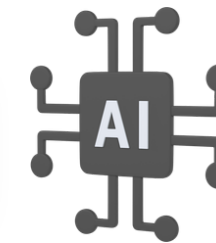
1

既存事業の深耕と拡大

導入プロダクト増加と
近接市場への拡大



AI活用

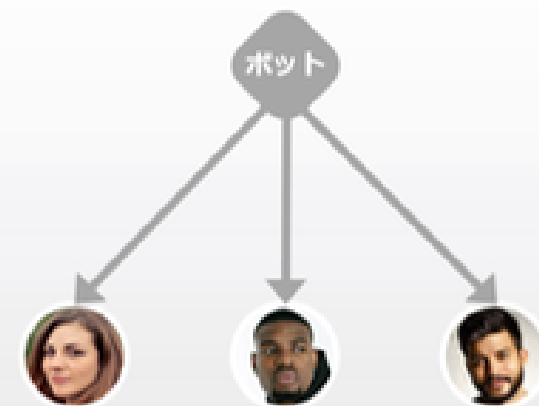


AIエージェントプラットフォーム「NiCE Cognigy」を販売開始 (2026/6/1)

コンタクトセンターにおける幅広い業務での活用を想定

高度な生成AIを活用して人間のような自然な対話を実現し、さらに基幹システムやCRMとの連携によって裏方業務の自動化までを一気通貫でサポート

これまでのボイスボット



すべてのお客様に、同じインターフェースで
画一的な顧客体験を提供

NiCE AI エージェント



すべてのお客様に、一人一人パーソナライズされた
最適な顧客体験を提供

1

既存事業の深耕と拡大

導入プロダクト増加と
近接市場への拡大

新たなソリューション

入金案内自動化サービス「Payコレクト」の提供を開始（2026/4/30）

入金案内から入金約束、支払い、効果測定に至るまでを一気通貫で自動化するSaaS型入金案内自動化サービス

企業・・・自動化による業務効率を大幅に改善

顧客・・・スマートフォンにより時間・場所にかかわらず手続き可能



1

既存事業の深耕と拡大

導入プロダクト増加と
近接市場への拡大

新たなソリューション

見えないデジタル資産を次世代に託す「デジシェア」を正式リリース
(2026/5/11)

お客様の大切な資産や思い出をデジタルで安全に保管し、ご家族などの「受取人」へ確実に引き継ぐための新しいサービス

人生の情報を一括管理

預貯金、不動産、保険、サブスク、将来の医療・介護の希望、家族へのメッセージまで、自身の大切な情報を幅広く記録できます。

逝去時の確実な情報公開

記録者が逝去時された際は、その家族や受取人から直接公的な証明書をご提示いただいたうえで、「逝去登録」。
登録後、指定の受取人に情報が公開

利用者

スマホアプリ

記録

招待

共有

閲覧

レポート

管理

ニュース配信

逝去登録

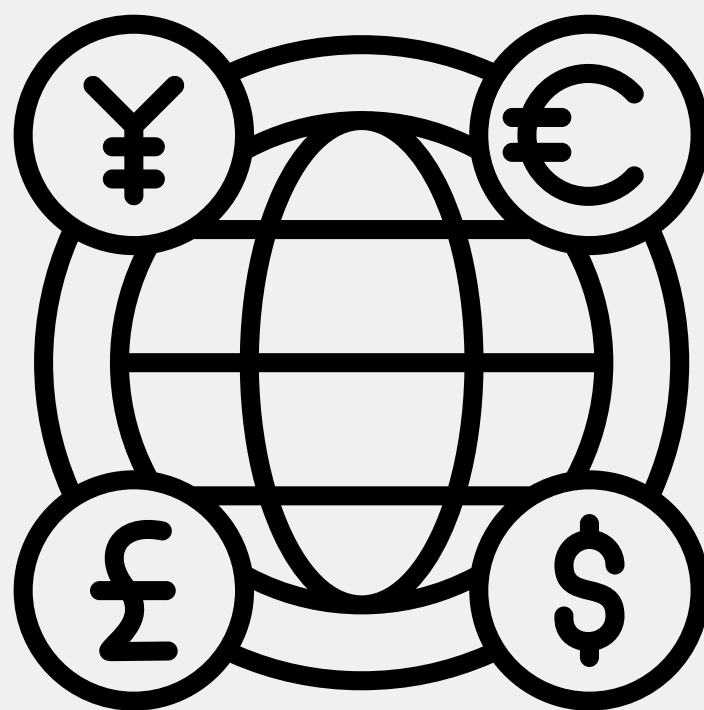
バックオフィス

提携パートナー

2

外国人プラットフォームの構築

外国人（旅行者、就労者）に対するプラットフォームを構築



免税制度改正（リファンド）対応



WAmazing株式会社への出資、持分法適用会社化（2026/4/1）

免税ECでの買い物を軸に、宿泊や交通・スキー等の体験アクティビティまで、訪日旅行者の予約・決済を一括で提供するインバウンドプラットフォームを手掛けるスタートアップ企業

免税制度改正（リファンド型移行）を見据え、免税EC・観光DXのパイオニアとして成長を加速

外国人金融口座開設



株式会社 GIGABANK への出資（2026/5/1）

外国人就労者向けに国境を越えて再利用可能な金融IDと信用基盤を提供し、銀行や企業の口座開設・審査を完全デジタルで効率化するトラストプラットフォーム事業を展開するスタートアップ企業

母国の信用データを活用し、移住先でも銀行送金・クレジットを利用できるクロスボーダー金融サービス

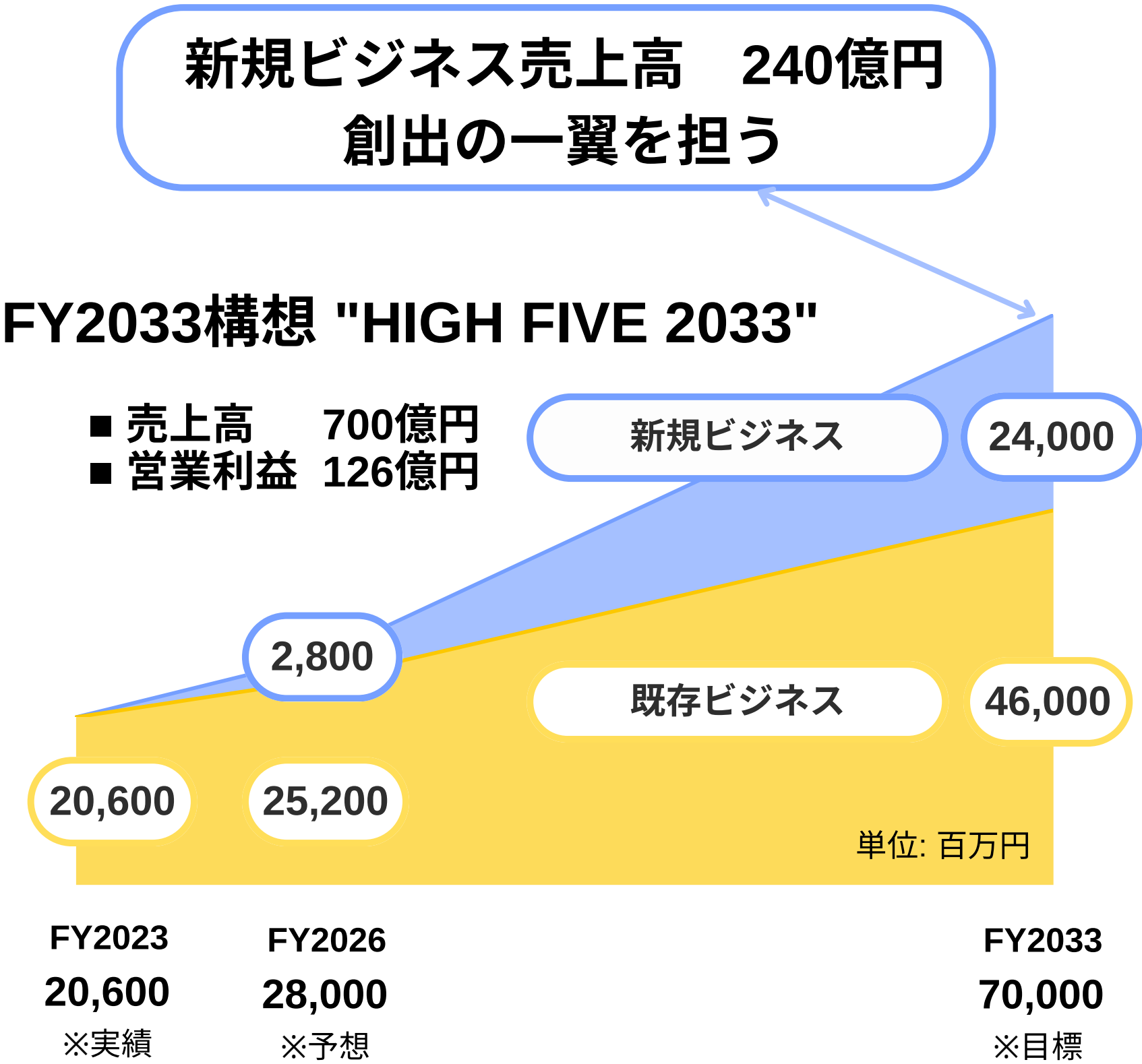
3

Growth Capital構想

対象マーケットを拡大すべく、
攻めるM&Aを実現できる体制を構築

株式会社 アイティフォー・グロースキャピタル設立
(2026/7/9)

名称	・ 株式会社アイティフォー・グロースキャピタル
所在地	・ 東京都千代田区一番町21番地
代表者	・ 代表取締役社長 佐藤 恒徳 （兼：株式会社アイティフォー 代表取締役会長）
資本金	・ 1億円
出資比率	・ 株式会社アイティフォー 90% ・ ソーシング・ブラザーズ株式会社 10%
目的	・ 案件ソーシングから投資実行、PMI、事業開発までを一気通貫で推進し、アイティフォーグループの持続的な企業価値向上と、新たな事業創出



AGENDA

-
- 01 FY2025 第1四半期業績
 - 02 FY2026 業績見通し
 - 03 FY2026 事業戦略の進捗
 - 04 株主還元**
 - 05 会社概要



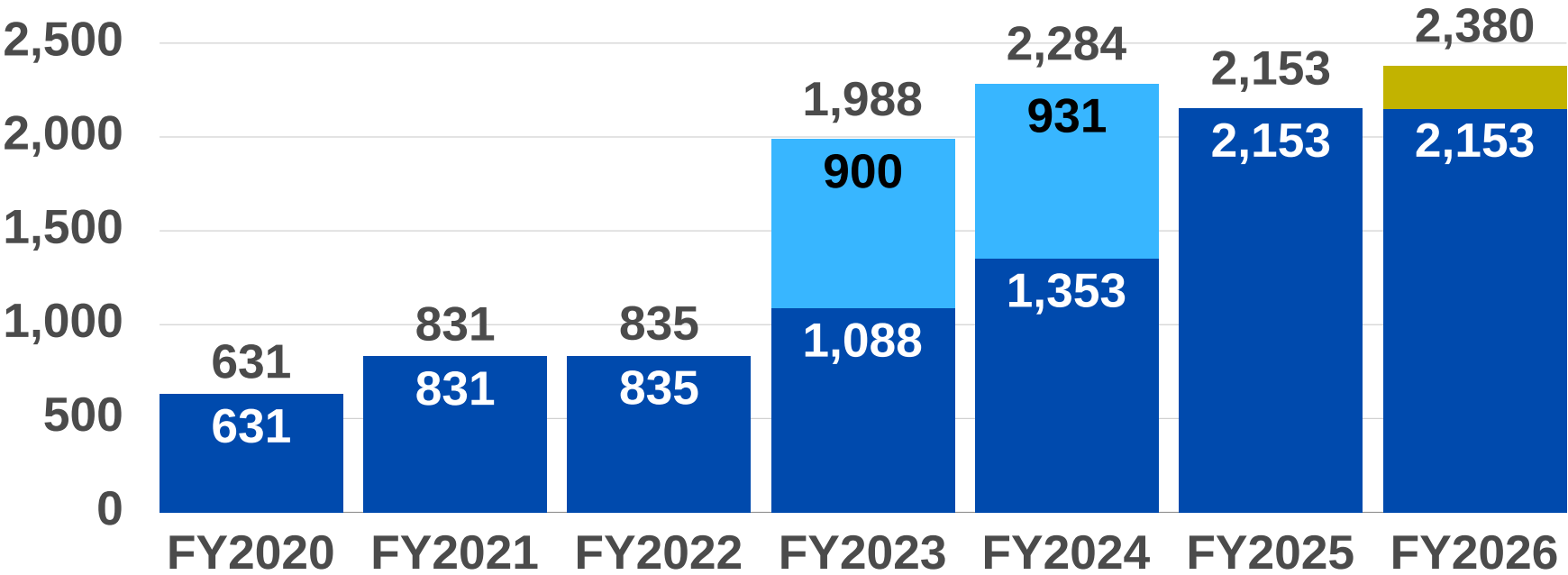
株主還元の基本方針は、「配当性向50%」「累進配当」「総還元性向70%」

- 株主還元の水準は大幅に拡大

還元総額

単位：百万円

- 配当総額
- 自己株買い総額
- 総還元性向70%に対する不足分

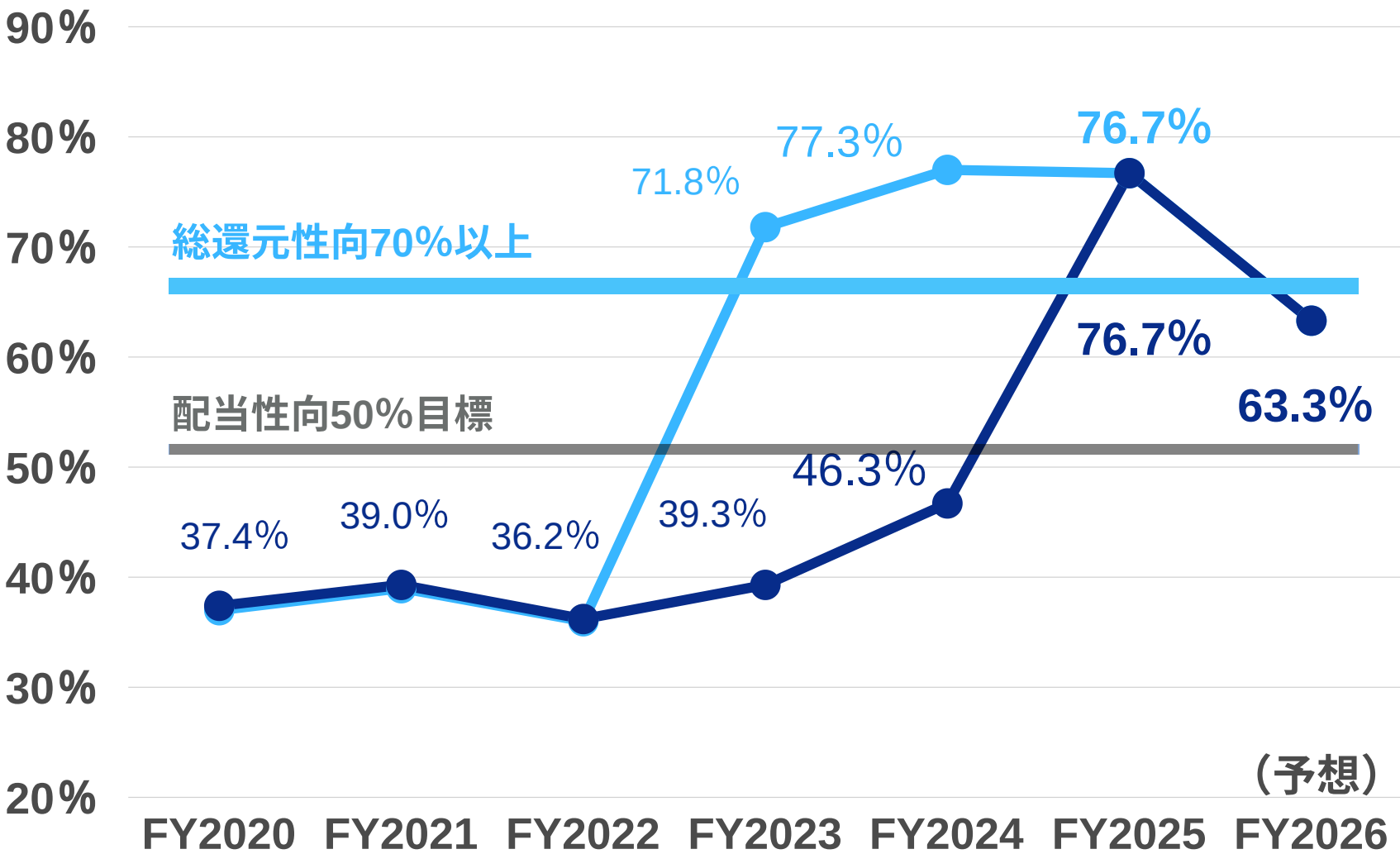


1株あたり年間配当金

23円	30円	30円	40円	50円	80円	(予想) 80円
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------------

総還元性向と配当性向

- 総還元性向
- 配当性向



(予想)



2026年度計画

積極的なコミュニケーション実施

- 決算説明会：2回
- 投資家面談：60件
- 個人投資家説明会：7回
- 香港ロードショウ：8～10社
(初の海外ロードショウ)
- 統合報告書発行（10月更新予定）
- SESSAパートナーズ株式会社による
レポート発行



AGENDA

- 01 FY2025 第1四半期業績
- 02 FY2026 業績見通し
- 03 FY2026 事業戦略の進捗
- 04 株主還元
- 05 会社概要**





詳細は当社ホームページを参照ください。

会社名	株式会社アイティフォー
創業	1972年12月2日
本社所在地	〒102-0082 東京都千代田区一番町21番地 一番町東急ビル 受付12階
拠点	西日本事業所、中部事業所、九州事業所、沖縄営業所、所沢ビル
グループ会社	株式会社アイセル 株式会社アイティフォー・グロースキャピタル 株式会社アイティフォー・ベックス 株式会社イーブ 株式会社シー・ヴィ・シー 株式会社シディ
資本金	11億24百万円（東証プライム市場 4743）
従業員数	連結：892名（2026年3月31日現在）

私たちは、 安心・安全・便利な日常生活を 支える企業です。



アイティフォーは、銀行・自治体・百貨店など地域に根差したお客様と、その先の地域の人々の豊かな日常生活のためにシステムとサービスを提供します。

地域社会に「笑顔」と「感動」を。

地方創生による社会貢献を通じてすべての人や企業にサプライズを提供し、持続可能な未来の発展に貢献します。

アイティフォーはシステム（IT）と業務（BPO）を通じて、日本全国の企業の皆様だけでなく、その先にいる人々のさまざまなライフステージをサポートします

金融機関向け

個人融資業務の受付・審査・債権管理システム、
訪問調査サービス

公共機関向け

滞納管理システム・学務支援システム、
業務受託（BPO）

小売業/EC事業者向け

販売管理・顧客管理などの基幹システム、
ECサイト構築

コンタクトセンター向け

声紋認証、音声認識、会話分析、
自動受架電システム

通信基盤/セキュリティ

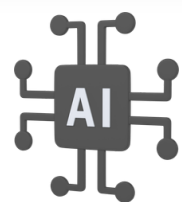
クラウド基盤、携帯ネットワーク構築、社会インフラ更新
ネットワークセキュリティシステム

キャッシュレス決済

キャッシュレス決済端末、決済クラウドシステム
企業間決済サービス・EC加盟店向け決済サービス



具体的な施策



AI人財育成

AI活用による開発工数削減を推進中



AI活用を促進

本質的な仕事に専念する
「時間的余白」を創出



リスキリングを支援

技能資格取得奨励金 & 対象資格を拡充し
全社で学ぶ文化を醸成



育児職場応援手当の導入

引き継ぎを受ける社員に手当を支給



副業を解禁

自律的なキャリア形成を後押し



社員の本音を集める
対話アプリ
「ココボイス」を活用

ES向上



- ・新卒入社3年後までの定着率 93% ※
- ・3年連続での賃上げを実施

※2026年3月末時点

1972 千代田情報機器株式会社を創業（12月2日）

1975 日本初のオンラインPOSシステムを開発・販売

1983 複数の個人信用情報機関を一括で照会可能な「個人信用情報照会システム」（MICSの前身）の開発、販売開始。日本初の債権督促を行う「オートコールシステム」（TCS/CMSの前身）の開発、販売開始

1986 個人融資の延滞債権管理を行う「個人融資債権管理システム（CMS）」の開発、販売開始

延滞債権を初期から償却まで一貫して管理できる「延滞債権管理システム（TCS）」の開発、販売開始
2000 JASDAQ市場 上場（2月15日）
株式会社アイティフォーに商号を変更（8月1日）

2001 インターネットを利用した「住宅ローン自動審査システム」の開発、販売開始

2004 小売業向け基幹システム「RITS（リッツ）」の開発、販売開始
新ECサイト構築パッケージ「ITFOReC（アイティフォレック）」の開発、販売開始

2005 東京証券取引所 市場第二部 上場（4月8日）

2006 東京証券取引所 市場第一部 上場（3月1日）

2008	法改正に対応した個人信用情報照会・登録システム「MICS2.0（ミックス2.0）」の開発、販売開始 地方税の徴収率を向上する電話催告システム「CARS（キャルス）」の販売開始
2012	国民健康保険料の電話催告BPOサービスを開始
2017	RITS決済クラウド「iRITSpay」、加盟店端末「iRITSpayターミナル」の開発、販売開始 SCOPE 個人ローン業務支援システムの開発、販売開始
2018	導入から運用まですべておまかせのクラウドサービス「IPaC（アイパック）」提供開始 自動受架電システム「ロボティックコール」を販売開始
2020	個人ローンの申込みから契約までを非対面で実現するローンWeb受付・契約システム「WELCOME」を販売開始
2021	AI を活用したサイバー攻撃対策サービス「CyCraft AIR」を販売開始
2022	東証の株式市場再編に伴い、東証プライム市場へ移行
2023	Android版決済端末「SATURN1000F2」を販売開始 ブロックチェーン技術「Digital Safe」熊本県にて実証実験
2024	Agent Hubのサービス提供を決定
2025	AI 対話アプリ「ココボイス」のPoC を開始

詳細は当社ホームページを参照ください。

最新の適時開示等、当社IRに関する情報について、
ご登録のメールアドレスにお知らせいたします。

ITFORニュースメールは、株式会社マジカルポケットが提供するメール配信サービスを通じて配信しています。皆様のご登録をお待ちしております。

ご登録はこちら

<https://ir.itfor.co.jp/mail/>





- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、当社がその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。したがって、本資料のみに依拠して投資判断されることはお控えください。
- 本資料内の情報によって生じた影響やいかなる損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本資料の一切の権利は当社に属しており、方法・目的を問わず、無断で複製・転載を行わないようお願いいたします。